

～健苗で収量確保と品質向上を～

1 育苗計画（営農のてびき p.14）

(1) 下表を参考に播種～田植えまでの日数を守り、**老化苗とならない**育苗計画をたてましょう。

品 種	浸種	播種	田植え	備考
五百万石・雄山錦	3月29日	4月14日	5月5日	播種～田植え：21日間
山田錦・新大正糯	4月7日	4月21日	5月10日	播種～田植え：19日間
コシヒカリ	4月7日	4月21日	5月10日※	・山田錦はコシヒカリの前に田植えをする。
てんこもり	4月13日	4月26日	5月15日	

※中山間地域や初期茎数が確保しにくい地域では、コシヒカリの田植えを5月10日頃としましょう。

2 浸 種

- (1) 種籾量は網袋の半分以下とし、水量は種籾の2倍以上としましょう。
(2) 浸種時の**水温は10～15℃を確保**しましょう。発芽の不揃いを防ぐため、**特に浸種初日は12.5℃を目安に**水温を保ちましょう。

※気温が低い場合は育苗室や育苗器等の利用や差し湯をするなど、適正な水温を確保しましょう。

気温が高い場合は「日陰におく」「水のかけ流し」「頻繁な水の入れ替え」を行いましょう。

- (3) 水道水などを使用し、1～2日毎に、水の入れ替えを行いましょう。
また、水の交換時には、種籾袋内を攪拌し、上下を入れ替えましょう。

品 種	水温	浸種日数	目標積算温度
五百万石・雄山錦	10℃ ～ 15℃	13～15日間	130℃以上
てんこもり		12日間	120℃以上
コシヒカリ 山田錦・新大正糯		10日間	100℃以上

<浸種完了の目安>



種籾の胚乳がアメ色で、透明になった頃

特に気温が低い時期に浸種する早生等は浸種初日の水温12.5～15℃を確保しましょう。

3 催 芽 ～作業前には必ず営農のてびき（p.16～17）を確認しましょう～

- (1) 催芽時間は品種や浸種条件により、ばらつきがあります。

必ず発芽状態を確認して下さい。

目 安	温度	30℃
	時間	16～24時間

<催芽完了の目安>



化学農薬
消毒

食酢処理（温湯・タフブロック）
やや短め

- (2) 循環式催芽機を使用する場合は、催芽時に食酢液（酸度0.1%）で処理しましょう。

※24時間以上かかる場合は、真水に入れ替えて下さい。

- (3) 生物農薬（タフブロック）消毒の場合は、催芽時にタフブロック200倍液と食酢液（酸度0.1%）で処理しましょう。

- (4) 化学農薬（モミガードC水和剤）消毒の場合は防除効果を高めるため、**浸漬処理時（消毒済種子は浸種開始時）は12.5℃を目安に**水温を保ちましょう。また、催芽は蒸気式の育苗室や育苗器で行いましょう。

※発芽率を確保するため、もち米は必ず「生物農薬（タフブロック）＋食酢」または「化学農薬（モミガードC水和剤）」で処理しましょう。

お問い合わせは、JAなんと営農部(62-0261) または
砺波農林振興センター南砺班(32-8147)へ

JAなんとメールマガジンの登録はこちらから

営農情報をスピーディーにキャッチ！

